

大豆近況 VOL.174

関係部署にご閲覧ください。

団体会員
 一般会員 各位
 賛助会員
 協賛企業

令和5年6月6日
 一般財団法人 全国豆腐連合会

「大豆近況」をお届け致します。是非、ご活用下さい。

○北米産大豆

5月のシカゴ相場(2023年7月限)は、\$14.27/bus 近辺から始まり、最終的には月初よりも下落し、\$13.00/bus 程の引けという月となりました。

米国農務省が5月12日に発表した2022/2023年度の米国大豆需給報告の詳細は下記表のとおりとなっております。

2022/23年度、2023/24年度 米国産大豆 需給表

年度 項目 / 発表月	① 2022/23		② 2023/24		③	
	2023年4月	2023年5月	2023年5月	② - ①	③ - ②	
作付面積 (百万エーカー)	87.50	87.50	87.50	0.00	0.00	
収穫面積 (百万エーカー)	86.30	86.30	86.70	0.00	0.40	
差異 (百万エーカー)	1.20	1.20	0.80	0.00	-0.40	
収穫率 (%)	98.63	98.63	99.09	0.00	0.46	
単収 (ブッシェル/エーカー)	49.50	49.50	52.00	0.00	2.50	
期初在庫予想 (百万t)	7.46	7.46	5.85	0.00	-1.61	
生産量 (百万t)	116.38	116.38	122.74	0.00	6.37	
輸入量 (百万t)	0.41	0.54	0.54	0.14	0.00	
総供給量 (百万t)	124.27	124.40	129.14	0.14	4.74	
搾油用 (百万t)	60.42	60.42	62.87	0.00	2.45	
輸出 (百万t)	54.84	54.84	53.75	0.00	-1.09	
種子用 (百万t)	2.78	2.78	2.75	0.00	-0.03	
その他 (百万t)	0.52	0.52	0.68	0.00	0.16	
総需要量 (百万t)	118.53	118.53	120.05	0.00	1.52	
期末在庫 (百万t)	5.72	5.85	9.12	0.14	3.27	
在庫率 (%)	4.82	4.94	7.59	0.11	2.66	
農家平均価格 (\$/bu)	14.30	14.20	12.10	-0.10	-2.10	

供給面は輸入量が増え、総供給量は124.4百万トンと上方修正、需要面の変化はなく、結果、期末在庫は5.85百万トン、先月比0.14百万トンの上方修正となりました。また当月より2023/2024年度の発表がありました。前年度と比較すると、供給面は作付面積が変わりなし、単収は増、期初在庫は減りますが、生産量は増と予想され、総供給量は129.14百万トンと前年

度よりも4.74百万トンの増となりました。需要面は搾油用、その他は増、輸出、種子用は減となり、総需要量は120.05百万トンとなり、前年度よりも1.52百万トン増となりました。結果、期末在庫は9.12百万トン、前年度比3.27百万トン増という結果となりました。これらの結果は相場にとって弱材料となりました。

また、米国産大豆の最新の生育進捗状況は下記のとおりとなっております。

2023年産 米国産大豆 クロップレポート

項目	5月21日	5月28日	昨年同日	5年平均
作付 (%)	66	83	64	65
発芽 (%)	36	56	36	40

5月28日時点では、作付は前週21日より17%進み、進捗率は83%となっております。昨年同日及び5年平均と比較すると約20%早く進んでいることが読み取れます。発芽は20%進み、進捗率は56%となっております。昨年同日及び5年平均と比較すると、15%以上早く進んでいることが読み取れます。作付、発芽、いずれも非常に順調に進んでいる状況は、相場にとって弱材料となります。

また、2022/2023年度の世界大豆需給報告の詳細は下記表のとおりとなっております。

2022/23年度、2023/24年度 世界の大豆 需給表

年度		①		②		③	
項目 / 発表月		2023年4月	2023年5月	2023年5月	② - ①	③ - ②	
世界大豆需給	期初在庫予想 (百万t)	99.73	98.67	101.04	-1.06	2.37	
	生産量 (百万t)	369.64	370.42	410.59	0.78	40.17	
	輸入量 (百万t)	164.76	165.20	169.77	0.44	4.57	
	国内消費 (百万t)	365.83	364.87	386.49	-0.96	21.62	
	(内 国内搾油用 (百万t))	315.20	313.31	332.31	-1.89	19.00	
	輸出 (百万t)	168.00	168.37	172.41	0.37	4.04	
	期末在庫 (百万t)	100.29	101.04	122.50	0.75	21.46	
	在庫率 (%)	27.41	27.69	31.70	0.28	4.00	
主要輸出国 生産内訳	米国 (百万t)	116.38	116.38	122.74	0.00	6.36	
	アルゼンチン (百万t)	27.00	27.00	48.00	0.00	21.00	
	ブラジル (百万t)	154.00	155.00	163.00	1.00	8.00	
	パラグアイ (百万t)	10.00	8.80	10.00	-1.20	1.20	
中国輸入量 (百万t)		96.00	98.00	100.00	2.00	2.00	

先月比で供給面は期初在庫が下方修正、生産量、輸入量が上方修正となり、需要面では国内消費、国内搾油用が下方修正、輸出量は上方修正となった結果、期末在庫は 101.04 百万トンと先月比 0.75 百万トンの上方修正となりました。また当月より 2023/2024 年度の発表が行われました。前年度と比較すると、供給面は期初在庫、生産量、輸入量が増となり、需要面は国内消費、国内搾油用、輸出が増となった結果、期末在庫は 122.5 百万トンと、前年度比、21.26 百万トンの上方修正となりました。これらの結果は相場にとって弱材料となりました。

現在、ブラジルでは収穫が進んでおります。最新の情報では進捗率は 98.5%となっており、昨年同時期が 98.1%ですので、ついに完全に収穫の遅れを取り戻しました。またこの状況を踏まえ、上記需給表の通り、生産量は先月よりも 1 百万トン上方修正、また 2023/24 年度では、生産量が 163 百万トンと、前年度よりも 8 百万トン増と予想されました。一方、アルゼンチン産大豆の収穫進捗率は、78.2%となっており、昨年同時期が 91.4%ですので、昨年よりも大幅に遅れている状況です。2023/24 年度の実生産量は 48 百万トンと、前年度よりも 21 百万トン増と予想をされました。ブラジル産大豆の記録的な増産がほぼ確実な状況、引き続き順調な状況が継続、アルゼンチンは前月である程度、下方修正がされた結果か、前月からの修正はありませんでした。南米全体としては、アルゼンチンの状況に今後大きな変化がない限りは、ブラジル産大豆の状況が相場に影響を与えやすい状況であると思われれます。

南米の大豆を取り巻く環境以外で相場に影響を与える要因として、中国を中心とした世界需要があります。5 月 26 日発表の米国大豆週間輸出成約高は、今年度分 0.115 百万トン、来年度分 0.01 百万トンの合計 0.1161 百万トンとなり累計成約数量は 50.8399 百万トンとなり、前年同時期が 59.419 である事を踏まえると成約進捗が遅れている状況であることが分かります。これは、大豆輸入大国である中国が、大豆の輸入比率を米国から南米へ切り替えている影響のためと思われれます。これは相場にとっては弱材料となります。またロシア・ウクライナの国際情勢等も相場へ影響を与える場合がありますので、引き続き注意が必要と思われれます。

北米産大豆の入港状況は、米西海岸からの配船は安定してきたものの、大豆産地からの貨車輸送は相変わらず不安定な状況です。また、海上運賃はピークを脱してきていますが、依然として高値で推移しています。

○為替相場

5 月の円相場は、1 ドル 137 円半ばから始まりました。5 月 3 日、FOMC(連邦公開市場委員会)が 0.25%の利上げを決定しましたが、その上で根強いインフレ懸念が示され、米景気の悪化懸念から米国債は買われ、長期金利が下落、為替は 134 円前半まで円高が進行しました。その後、ア

トランタ連銀ボスティック総裁の「2024年のかなりの期間まで、利下げを見込んでいない」「金利をさらに上昇させる必要性があるかもしれない」、ニューヨーク連銀ウィリアムズ総裁による「経済は容認できないほどの高インフレに直面している」との発言により、ドル買いが強まり、またマッカーシー下院議員による債務上限問題に対して、楽観的な見方を表明したこともリスク選好的なドル買いを支え、5月18日には1ドル138円後半まで円安ドル高が進みました。さらにその後、5月26日発表の4月米コアPCE(米個人消費支出)価格指数の伸びが市場予想を上回り、6月開催のFOMCの会合で追加利上げの観測が強まったことが意識され、ドル買い/円売り活発、メスター米クリーブランド連銀総裁が「もう少し利上げが必要になる」との考えを示したこともドル買いを支援し、約半年ぶりの高値、1ドル140円後半まで円安ドル高が進み、最終的には1ドル139円前半で引けという月になりました。米国のインフレ状況・政策金利の動向等により、今後も為替は大きく変動し易い状況であり、他国の情勢だけではなく日本銀行の金利政策の方針にも注視する必要があります。

○国産大豆

令和4年産 国産大豆収穫後入札会の第五回目が2023年5月17日(水)に行われました。結果は次ページのとおりとなっております。(「-」は前月に上場されていないため、比較対象がないという意味になります。)

令和5年 5月の入札取引結果(普通大豆)

産地	粒別	品種銘柄	上場数量 (60kg俵数)	落札数量 (60kg俵数)	平均落札価格 (円/60kg)	前月との比較	
						4月 (円/60kg)	5月 - 4月 (円/60kg)
北海道	大粒	とよまさり	25,740.0	25,410.0	9,535	10,117	-582
	中粒	とよまさり	1,815.0	1,320.0	9,954	9,931	23
	小粒	スズマル	495.0	165.0	8,810	8,010	800
	極小粒	スズマル	330.0	330.0	9,900	9,850	50
	小粒	ユキシズカ	5,115.0	4,125.0	8,480	8,550	-70
岩手	大粒	リュウホウ	1,815.0	1,815.0	9,042	9,505	-463
	大粒	シュウリュウ	555.0	555.0	8,350	8,618	-268
	中粒	シュウリュウ	165.0	165.0	7,820	-	-
宮城	大粒	ミヤギシロメ	495.0	495.0	11,787	11,763	24
	中粒	ミヤギシロメ	495.0	495.0	10,633	11,110	-477
	大粒	タチナガハ	660.0	495.0	10,113	10,435	-322
秋田	大粒	リュウホウ	1,980.0	1,980.0	9,116	9,117	-1
	中粒	リュウホウ	990.0	990.0	8,183	8,458	-274
山形	大粒	里のほほえみ	1,485.0	1,485.0	9,013	9,454	-440
	大粒	リュウホウ	330.0	330.0	8,575	8,700	-125
	中粒	リュウホウ	495.0	495.0	8,177	8,865	-688
	大粒	エンレイ	495.0	495.0	9,607	9,400	207
	中粒	エンレイ	495.0	495.0	8,450	8,567	-117
福島	大粒	里のほほえみ	825.0	495.0	7,930	8,325	-395
茨城	大粒	里のほほえみ	1,815.0	1,320.0	9,218	9,922	-704
	小粒	納豆小粒	825.0	-	-	-	-
	極小粒	納豆小粒	330.0	-	-	-	-
栃木	大粒	里のほほえみ	1,980.0	1,980.0	8,976	9,331	-355
群馬	大粒	里のほほえみ	165.0	165.0	7,820	8,030	-210
	中粒	里のほほえみ	14.5	-	-	-	-
	大粒	ハタユタカ	80.0	-	-	-	-
	中粒	ハタユタカ	70.5	-	-	-	-
千葉	大粒	フクユタカ	330.0	-	-	-	-
	中粒	フクユタカ	330.0	330.0	7,820	8,030	-210
新潟	大粒	里のほほえみ	825.0	825.0	8,834	9,440	-606
	大粒	エンレイ	330.0	330.0	9,110	11,570	-2,460
	中粒	エンレイ	330.0	330.0	8,250	8,030	220
富山	大粒	エンレイ	165.0	165.0	12,020	11,980	40
長野	大粒	ナカセンナリ	1,485.0	1,485.0	8,493	8,665	-172
		その他	165.0	165.0	7,630	-	-
岐阜	大粒	フクユタカ	576.5	576.5	8,489	8,030	459
	中粒	フクユタカ	660.0	660.0	9,180	11,940	-2,760
		その他	660.0	-	-	-	-
愛知	中粒	フクユタカ	660.0	660.0	9,265	-	-
三重	中粒	フクユタカ	992.0	992.0	8,005	-	-
滋賀	大粒	オオツル	330.0	330.0	10,255	9,795	460
	中粒	オオツル	330.0	330.0	8,515	9,410	-895
	大粒	ことゆたか	1,320.0	660.0	8,888	8,865	22
	中粒	ことゆたか	330.0	330.0	8,345	8,030	315
	大粒	フクユタカ	165.0	165.0	10,800	9,720	1,080
	中粒	フクユタカ	1,320.0	1,320.0	8,513	9,523	-1,010
		その他	165.0	165.0	8,010	-	-
山口	大粒	サチユタカ	330.0	165.0	8,920	9,645	-725
	中粒	サチユタカ	165.0	165.0	8,820	9,470	-650
愛媛	大粒	フクユタカ	165.0	165.0	8,550	8,030	520
	中粒	フクユタカ	495.0	495.0	7,897	-	-
福岡	大粒	フクユタカ	165.0	165.0	13,640	13,580	60
	中粒	フクユタカ	165.0	165.0	13,640	12,765	875
		その他	330.0	330.0	9,015	9,887	-872
佐賀		その他	825.0	825.0	8,098	-	-
熊本	大粒	フクユタカ	495.0	495.0	12,430	13,357	-927
	中粒	フクユタカ	825.0	825.0	11,226	12,343	-1,117
大分	大粒	フクユタカ	330.0	330.0	12,600	12,680	-80
	中粒	フクユタカ	330.0	330.0	12,500	12,410	90
全国			66,143.5	59,873.5	9,283	9,766	-484

前月と比較すると全国平均は、約¥480/60kg 下がり、¥9,283/60kg と前回に引き続き下落しました。北海道産とよまさり系大粒は先月と比較すると、約¥580/60kg 程下がり、¥9,535/60kg の結果となり、ついに¥10,000/60kg を切る落札価格となりました。他の産地に関しても、前回に引き続き、全体的に下がっております。

次回、第七回の収穫後入札会は 2023 年 6 月 14 日(水)実施予定となっており、約 4,200 トンの上場が予定されております。先月に引き続き、今月も下落している点を踏まえると、今後の収穫後入札会も軟調な価格推移となるかもしれません。また、今後令和 5 年産の播種、生育が進んでいきますので、その状況によっては多少の影響が起こり得るかもしれないため、注視が必要です。

以上